

講義名	中国語資格試験準備 A			授業形態	
担当教員	関 梅	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 2 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

この科目は、「日本中国語検定試験」を受験したい学生を対象としています。そのため、基礎的な中国語の知識を持つことを求めます。中国語検定試験のランクは準4級から始まりますが、この授業では、まず準4級の知識の習得状況を確認し、その後、次の段階として4級レベルの文法を習得します。そして、検定試験に向けたリスニングや筆記問題のトレーニングを行います。この授業は、中国語4級の検定試験の合格を目標としています。そのため、授業の予習・復習はもちろん、単語や慣用表現、フレーズの習得などは課外の努力も欠かせません。

到達目標

中国語検定試験4級に合格する目標を目指します。
 4技能に関する到達目標
 聞く：平易な日常会話の内容を聞いて分かるようになります。
 話す：自己紹介ができ、短い文の質問と答えができるようになります。
 読む：300字以内の平易な内容の中国語を理解することができるようになります。
 書く：基本文法を応用して、簡単な自己紹介文を書くことができるようになります。

提出課題

毎回の授業では、トレーニングの状況を確認するため、トレーニングのプリントの提出をしてもらい、次回にフィードバックを行います。また、毎回課題のプリントも配布する予定です。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

前回のトレーニングの結果を講評し、理解の不十分な文法項目を再度説明をします。

評価の基準

本講義の評価基準は毎回の講義の受講態度と提出物、小テスト及び中間テストと期末試験の成績により総合的に評価をすることを基準とします。
 具体的な割合は：
 平常点（授業中の受講態度、課題の提出、小テスト）20%
 中間テスト30%、期末試験50%
 原則として授業に5回の欠席以上の場合は失格とします。

履修にあたっての注意・助言他

中国語4級検定試験に合格するには日々努力は欠かせないので、音読の練習や単語の暗記と文法の復習をする必要があります。

教科書

.教科書を使用しない。

参考図書

.なし。

その他

自作したプリントを配布する

授業計画

1.準4級レベル問題
 予習内容：準4級レベルの単語 を自習すること、文法項目1-5を予習し、例文をすべて訳すこと (100分)
 復習内容：単語 の発音、意味、書き方を復習すること、文法項目1-5を復習し、課題を完成すること (140分)
 2.準4級レベル問題
 予習内容：準4級レベルの単語 を自習すること、文法項目6-10を予習し、例文をすべて訳すこと (100分)
 復習内容：単語 の発音、意味、書き方を復習すること、文法項目6-10を復習し、課題を完成すること (140分)
 3.準4級レベル問題
 予習内容：準4級レベルの単語 を自習すること、文法項目11-15を予習し、例文をすべて訳すこと (100分)
 復習内容：単語 の発音、意味、書き方を復習すること、文法項目11-15を復習し、課題を完成すること (140分)
 4.4級レベル筆記問題 & リスニング
 予習内容：4級レベルの単語 を自習すること、文法項目1-3を予習し、例文をすべて訳すこと (100分)
 復習内容：単語 の発音、意味、書き方を復習すること、文法項目1-3の課題を完成し、リスニングをトレーニングすること (140分)
 5.4級レベル筆記問題 & リスニング
 予習内容：4級レベルの単語 を自習すること、文法項目4-6を予習し、例文をすべて訳すこと (100分)
 復習内容：単語 の発音、意味、書き方を復習すること、文法項目4-6の課題を完成し、リスニングをトレーニングすること (140分)
 6.4級レベル筆記問題 & リスニング
 予習内容：4級レベルの単語 を自習すること、文法項目7-9を予習し、例文をすべて訳すこと (100分)
 復習内容：単語 の発音、意味、書き方を復習すること、文法項目7-9の課題を完成し、リスニングをトレーニングすること (140分)
 7.4級レベル筆記問題 & リスニング
 予習内容：4級レベルの単語 を自習すること、文法項目10-12を予習し、例文をすべて訳すこと (100分)
 復習内容：単語 の発音、意味、書き方を復習すること、文法項目10-12の課題を完成し、リスニングをトレーニングすること (140分)
 8.4級検定問題半復習・テスト
 予習内容：4級レベルの単語 を自習すること、文法項目1-12を復習し、リスニング - を復習すること (100分)
 復習内容：テストの単語の発音、意味、書き方を復習すること、文法項目1-12のテスト問題を確認し、リスニングをトレーニングすること (140分)
 9.4級レベル筆記問題 & リスニング
 予習内容：4級レベルの単語 を自習すること、文法項目13-15を予習し、例文をすべて訳すこと (100分)
 復習内容：単語 の発音、意味、書き方を復習すること、文法項目13-15の課題を完成し、リスニングをトレーニングすること (140分)
 10.4級レベル筆記問題 & リスニング
 予習内容：4級レベルの単語 を自習すること、文法項目16-18を予習し、例文をすべて訳すこと (100分)
 復習内容：単語 の発音、意味、書き方を復習すること、文法項目16-18の課題を完成し、リスニングをトレーニングすること (140分)
 11.4級レベル筆記問題（長文）& リスニング（長文1前半）
 予習内容：4級レベルのすべての単語を自習すること、筆記問題の長文を理解し、日本語に訳すこと (120分)
 復習内容：単語の発音、意味、書き方を復習すること、長文の課題を完成し、リスニング長文1をトレーニングすること (120分)
 12.4級レベル筆記問題（長文）& リスニング（長文1後半）
 予習内容：4級レベルのすべての単語を自習すること、筆記問題の長文を理解し、日本語に訳すこと (120分)
 復習内容：単語の発音、意味、書き方を復習すること、長文の課題を完成し、リスニング長文1をトレーニングすること (120分)
 13.4級レベル筆記問題（長文）& リスニング（長文2前半）
 予習内容：4級レベルのすべての単語を自習すること、筆記問題の長文を理解し、日本語に訳すこと (120分)
 復習内容：単語の発音、意味、書き方を復習すること、長文の課題を完成し、リスニング長文2をトレーニングすること (120分)
 14.4級レベル筆記問題（作文）& リスニング（長文2後半）
 予習内容：4級レベルのすべての単語を自習すること、筆記問題の作文課題を完成すること、リスニング長文2をトレーニングすること (120分)
 復習内容：単語の発音、意味、書き方を復習すること、筆記問題の総合課題を完成し、リスニング長文2をトレーニングすること (120分)
 15.4級レベル筆記問題&リスニング（すべての項目）
 予習内容：4級レベルのすべての単語の習得を確認すること、筆記問題の総合課題を完成すること (120分)
 復習内容：単語の発音、意味、書き方を復習すること、最終課題を完成してキャンパスクロスに提出すること、リスニングすべての項目をトレーニングすること (120分)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

外国語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」、資質・能力を育み、教育学部生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」、人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に習熟し「コミュニケーション能力」の育成を目指します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

毎回の授業では、検定問題の単語や文法などの習得状況についての確認は、QuizletやKahootなどのアプリケーションを利用して行います。

実務経験の有無及び活用

実務経験なし

備考

受講者の習得状況に応じて授業の進度を調整します。